

# 第3回港区3R推進行動会議議事録(要旨)

平成20年3月19日

## まとめ

- ・ 次年度は、排出実感と表示実態のふたつのプラスチック調査を行い、実態を把握するだけでなく、区民の声を集める。
- ・ リユース食器を利用したエコイベントマニュアルを活用し、様々なイベントなどにも広めていく。

## 1 区挨拶

- ・ ひるどき3Rキャンペーンなど、事業者の協力も得ながら進めてきた。サポーター登録も進んでいる。継続して進めていきたい。
- ・ 10月からはプラスチックの資源回収が本格実施となる。分別の徹底に努めるとともに、製造業者にはリサイクルをするのに分かりやすい製品を作ってもらいたいと思う。

## 2 資料説明

### (1) 港区一般廃棄物処理基本計画(みなとクリーンプラン21)の見直しについて 事務局からの説明

- ・ 本年は、2003年に制定した一般廃棄物処理基本計画の中間年であり、中間見直しを行った。環境審議会で審議を行い、一昨日17日に了承された。
- ・ この見直しを分かりやすくまとめた概要版を作成し、区民に配布したいと考えている。

### 意見交換

- ・ 区民から寄せられた意見は区のホームページで見ることができるが、審議会の審議内容はホームページには載っていない。希望者は区へ申し出れば、会議録を見ることができる。
- ・ 3R推進行動会議はとても重要な位置づけとなっている。委員も一層の自覚を持って取り組みたい。

### (2) 環境行動会議について

#### 事務局からの説明

- ・ 来年度、港区環境行動会議の設立を予定している。温暖化部会(案)、緑・水部会(案)、3R部会の3つの部会から成り立つ。

#### 意見交換

- ・ 様々な分野と連携し、3Rの輪広がっていくとよい。
- ・ いかに事業者を巻き込んでいくかが、今後の課題ではないか。「環境にやさしい事業者会議」に現在66社が参加しているので、この仕組みをうまく利用したい。
- ・ 中小企業などへも、商工会議所などに呼びかけの協力をお願いしたい。
- ・ 環境への取り組みは企業にとってもいい評価につながる時代なので、つながりを持たせて広げていきたい。

### **(3) リユース食器を利用したエコイベントマニュアル(案)について**

#### **事務局からの説明**

- ・ リユース食器を使ったイベントが増えていて、いい傾向だが、情報がないとなかなか実践に移せないのが現状。このマニュアルで、リユース食器の利用を広めていきたい。
- ・ 芝浦での事例を盛り込むなど、実際に関わった人からの意見も盛り込んでいきたい。
- ・ 配布した後、来年度にはこのマニュアルを活用したイベント報告を聞きたい。

#### **意見交換**

- ・ これまでは行動することを重点に進めてきたが、マニュアルを作り、行動を定着させていくようなことも大変重要。

### **(4) 家庭での不燃ごみ実感調査について**

#### **事務局からの説明**

- ・ 3月5日(水)からと14日(金)からの、それぞれ1週間で、家庭から出るプラスチック廃棄物量の調査を行った。
- ・ 約50のサンプルが得られ、現在集計中。
- ・ 4月末まで調査期間を延長し、100以上のサンプル回収を目指す。
- ・ アンケートでレジ袋を断っていると回答した過程は、ごみの量も少ないという傾向があった。調査家庭を増やし、実証したい。

#### **意見交換**

- ・ レジ袋削減だけ取り組んでも仕方ないといった意見も聞かれるが、データがあれば、レジ袋削減をきっかけにごみは減らせるということが説明できる。
- ・ 調査対象家庭については、ホームページなど利用して幅広く募集してほしい。

## **3 全体討議(次年度の進め方、各委員の関わり方等)**

---

#### **事務局からの説明**

- ・ 今年度実施したことを踏まえ、7つの項目を提示。
  - (1) プラスチック排出実態調査
  - (2) プラスチック表示実態調査
  - (3) ひるどき3Rキャンペーン
  - (4) 事業者・厨芥ごみ・プラスチックごみ排出実態調査
  - (5) 3Rトップセミナー開催
  - (6) イベントの3R
  - (7) 3Rサポーターの拡充に向けて
- ・ (1)プラスチック排出実態調査と、(2)プラスチック表示実態調査の2つは、リンクさせて取り組みたいと考えている。
- ・ プラスチック表示実態調査は、製造元、製品を断定して、具体的に示したい。容器包装リサイクル推進協議会を通して、企業に伝えてもらう。

## 意見交換

- ・現在のプラスチック表示は、法で決められたものだが、とても分かりにくい。リサイクルすべき対象商品が分かるようにしてほしい。
- ・調査を行い意識が変わったというだけでは、意味がない。市民の声を伝えるということは大変重要。
- ・プラスチック表示は消費者団体連絡会でも検討していた。ぜひ調査を行いたい。
- ・転入者へはごみの分別や排出方法について、各支所の転入窓口で4ヶ国語表記された印刷物を渡している。渡すだけでなく、必ず読んでもらうように促してほしい。
- ・転入者や外国人のマナーが悪いのではないかといわれるが、単に方法を知らないということもある。まずはしっかり周知をすることが大切。
- ・自治体によって分別方法が異なるので、転入元と比較して変わった点を知ってもらうことも有効。
- ・マナーについては日本人の方が悪いというデータもある。若い世代なども含め、みんなで取り組めるような方法が必要。
- ・行政から伝えると、硬くなってしまう。日常生活の中で、地域の住民が教えてあげることができるといい。
- ・悪質な不法投棄の実態もあり、地域や警察とも共同し区が対応している。
- ・素晴らしいエコイベントマニュアルができたので、今年の夏祭りで活用したい。
- ・4月に行われるアースデイイベントのように、祭りに参加する事業者にもリユース食器を利用してもらいたい。
- ・港区は学校給食用のリユース食器を使っている。使う人にとっても使いやすいという点で、大変優れている。港区の強みだ。
- ・持ち帰り用にする人もいるので、その場で食べる人との違いを考える必要がある。
- ・表紙のイラストを祭りだけに限定せず、企業や、スポーツイベントにもこのマニュアルを活用してほしい。
- ・企業やテレビ局にこのマニュアルを紹介し、広く周知するきっかけにしてはどうか。
- ・マイバックについても継続して推進を続けていくべきなので、マイバックの徹底、レジ袋の削減という文言を追加して。
- ・スーパーはマイバックで万引きが増えている。マイバックを持ってこないでほしいという気持ちがある。その代わりではないが、レジ袋は土に還るものを使っている。
- ・東芝の社員食堂が、農家と提携して生ごみを野菜や米の肥料にしている。ぜひ体験ツアーを組んでほしい。
- ・芝商業高校がイベントに大変協力的で、いろんなところで手伝ってくれている。

## 4 その他

- ・4月から国際担当課長という新しいセクションができる。協力、連携して行動していきたい。
- ・本日10:00から、清掃事務所主催のごみ減量セミナーを行っている。区内の企業約200社が参加。午後は、中央防波堤埋立処分場見学のバスツアーを行う予定。